



にじ 虹のかけ橋

令和8年2月27日

第22号

文責 校長

「6年生ありがとう集会」を開催しました

本日2月27日（金）の2校時に、「6年生ありがとう集会」を行いました。

はじめに行われた「6年生思い出クイズ」では、楽しい問題の合間に6年生への突撃インタビューもあり、会場は笑顔に包まれました。続いて、1年生から5年生までが、感謝の気持ちを込めた出し物や発表を行い、これまでお世話になった6年生への思いを伝えました。うれしそうで、どこか照れくさそうな6年生の表情がとても印象的でした。また、6年生からも在校生へ心のこもったプレゼントが贈られました。



全校児童の気持ちが一つになった、温かく思い出深い集会となりました。子どもたちの姿に胸が熱くなる場面もありました。6年生の皆さんが中学校でも元気に活躍されることを心から願っています。あわせて、集会の企画・運営を中心となって担った5年生の皆さんにも、大きな拍手を送りたいと思います。

大内中学生徒会よりご寄贈いただきました

2月19日（木）、大内中学校の生徒会役員2名が来校しました。大内中学校で実施したアルミ缶回収の収益金をもとに購入した「オセロ」と「トランプ」を、本校児童会へ寄贈してくださいました。心より感謝申し上げます。

来校したお二人の礼儀正しく堂々とした姿が大変印象的でした。



卒業式・修了式・離任式のお知らせ

◇卒業式【3月13日（金）】

登校時刻：卒業生 8：55～9：10

在校生 8：20～8：40（4・5年生）

※平日ですが、通常よりも遅い登校時刻となります。

※在校生で登校が8時前になる場合は、事前に学級担任へお知らせください。

※1～3年生は休業日となります。

◇修了式【3月19日（木）】

3校時限（給食なし） 下校時刻11：20頃（予定）

◇離任式【3月26日（木）】

登校時刻8：00 下校時刻10：30頃（予定）

※在校生のほか、卒業生も登校日となります。

※教職員の人事異動は、3月20日（金）朝刊で発表予定です。



子どもたちの活躍

☆大内スポーツ賞

栄光賞 6年 金* ** (柔道)、6年 鈴* ** (柔道)、
3年 高* * (陸上)

☆第18回小島かはたれ子ども俳句コンクール

奨励賞 5年 田* **

チャレンジ賞 4年 阿* **、5年 小* **、6年 吉* **

☆第1回大内バレンタインCAMP

第3位 大内男子ミニバスケットボールスポーツ少年団

☆本荘由利地区ミニバスケットボール新人大会

優勝 新山ミニバスケットボールクラブスポーツ少年団 (女子) 3年 小* **

準優勝 大内男子ミニバスケットボールスポーツ少年団

準優勝 大内女子ミニバスケットボールスポーツ少年団

☆第30回全県小学生バドミントン選手権

4年男子ダブルス 優勝 東由利バドミントンスポーツ少年団

4年 阿* **、阿* **

あきた型学校評価の結果について

今月上旬に行われた第3回学校運営協議会におきまして、学校評価委員の皆様方から今年度の学校評価についてのご意見を頂戴しました。成果と課題を明確にして、今後の学校運営に生かしてまいります。誠にありがとうございました。

令和7年度 岩谷小学校学校評価シート

評価領域	学校経営
------	------

重点目標	学校教育目標「自律 ～いきいき わくわく やさしく～」を具現化する学校経営の推進
------	--



現 状	<p>(1) いきいき (成長保障) 児童が目標に向かって主体的に努力したり、失敗を恐れず挑戦したりする姿勢は、まだ十分に育っているとは言えない。自分の考えをもち、自ら判断して行動する力の育成が引き続きの課題である。</p> <p>(2) わくわく (学力保障) 与えられた課題に対する取組には一定の意欲が見られるものの、自ら課題を見つけ、意欲的に学ぼうとする姿勢は十分ではない。主体的に学ぶ力を育むための指導と環境づくりが求められている。</p> <p>(3) やさしく (満足保障) 一部に、相手の気持ちを考慮しない言動に起因するトラブルが見られる。他者との違いを認め合い、よりよい人間関係を築く力や共感的な態度の育成が重要な課題となっている。</p>
-----	--

P



<p>具体的な目標</p>	<p>(1) いきいき (成長保障) ～自律した生き方ができる子ども～</p> <ul style="list-style-type: none"> ①自分の考えで行動しようと意識している。 ②間違えたり失敗したりしても、やり直してがんばろうと思う。 ③学校生活の中で、自分で選んだことにチャレンジする機会がある。 <p>(2) わくわく (学力保障) ～自律した学びができる子ども～</p> <ul style="list-style-type: none"> ①学ぶことにおもしろさや楽しさを感じることもある。 ②自分に合った勉強の仕方を考えて取り組んでいる。 ③授業で友だちと意見を出し合ったり、協力したりすることがある。 <p>(3) やさしく (満足保障) ～自律した関わりができる子ども～</p> <ul style="list-style-type: none"> ①友だちの気持ちを考えて行動するようにしている。 ②困ったときにまわりの人に相談したり助けってもらったりできる。 ③友だちと話し合ったり協力して活動したりすることが楽しいと感じる。 <p>学校生活アンケートを実施し、上記の各項目において、4段階評価で全校平均3.0点以上を目指す。</p>
---------------	---



<p>目標達成のための方策</p>	<p>(1) いきいき (成長保障) …子どもたちの成長を支える教育環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの心理的安心感を保障する「居場所づくり」の推進 (自己肯定感・自己有用感の醸成) ・子どもの小さな成長や努力を見逃さず、ポジティブな声かけや安心感をもたせる対応 ・日常的に自己決定の場を提供し、挑戦を歓迎する文化の醸成 ・保育園・小・中学校との効果的な連携による成長を連続的に捉えた指導 ・コミュニティ・スクール機能を生かした開かれた学校づくりと家庭や地域との協働 <p>(2) わくわく (学力保障) …子どもたちの主体性を育む授業改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「アウトプット」「自己決定」「協働」を授業改善の視点とした、学ぶ楽しさを実感できる授業づくり (生徒指導の視点を生かした授業づくり) ・自ら計画を立てて学ぶ「さわやかタイム」への取組強化 ・授業における国や県の調査問題、単元評価問題等の効果的な活用 ・特別支援学級と通常の学級に在籍する支援を要する子どもへの適切な指導 <p>(3) やさしく (満足保障) …心豊かな人間関係の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・望ましい人間関係の構築に向けた指導・支援の充実 (日常的に「ありがとう」「ごめんなさい」を自然に伝えられる雰囲気醸成、トラブルを学びに変える指導) ・子ども同士が共感的な人間関係を築けるような、対話や協働の機会の充実 ・相手や場に応じたあいさつや返事、反応、言葉遣いの定着 ・全教育活動を通した道徳教育の充実 (道徳科の授業づくり、規範意識の向上他) ・家庭・地域との効果的な連携による人間関係形成・社会形成能力の育成 <p>(4) 教職員の役割と支援体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「伴走型支援」を基本に、子どもたちの主体性を尊重しながら必要なサポートを実施 ・授業改善や教職員の専門性向上のための研修会を実施 ・ゆるやかなチーム担任制による情報共有の徹底と教職員間の連携強化 ・「いじめ防止基本方針」の周知徹底 (未然防止、早期発見、即時対応、丁寧な見守り) ・保護者との教育相談の充実とS SW等の外部機関等との連携強化
-------------------	---

P



	<p>(1) 長期休業中のドリル教材の選択制や、運動会における「チャレンジマラソン」の実施など、児童が自ら選択し挑戦する場を意図的に設定し、主体性や当事者意識の育成につながる取組を行っている。</p>
--	--

<p>具体的な取組状況</p>	<p>(2) 子ども自身が計画を立てて学ぶ「さわやかタイム」の充実を図るとともに、「アウトプット」「自己決定」「協働」を授業改善の重点として、日常の授業の中で主体的に学ぶ姿の具現化を進めている。</p> <p>(3) 「ゆるやかなチーム担任制」を導入し、朝の活動や清掃、道徳科の授業交換等を通して、複数の教職員が多面的に児童を見守り、支える体制を段階的に整えている。</p> <p>(4) 県教委指導主事やスクールソーシャルワーカー、特別支援教育アドバイザー、ゆり支援学校教育専門監と連携し、教育相談や特別支援教育に関わる研修を計画的に実施することで、児童理解と支援の充実を図っている。</p>	D																																							
<p>達成状況</p>	<p>○「自律 ～いきいき わくわく やさしく～」アンケート調査の結果 (回答数129、4段階評価)</p> <p>(1) いきいき (成長保障) ～自律した生き方ができる子ども～</p> <table border="1" data-bbox="368 629 1369 875"> <thead> <tr> <th>質問項目</th> <th>評価</th> <th>3・4段階</th> <th>4段階のみ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①自分なりの考えをもって行動しようとしているか。</td> <td>3.40</td> <td>94.6%</td> <td>46.5%</td> </tr> <tr> <td>②間違えたり失敗したりしても、あきらめずにやり直そうとしているか。</td> <td>3.50</td> <td>93.0%</td> <td>58.1%</td> </tr> <tr> <td>③学校生活の中で、自分で選んだことにチャレンジしようとしているか。</td> <td>3.47</td> <td>91.5%</td> <td>58.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) わくわく (学力保障) ～自律した学びができる子ども～</p> <table border="1" data-bbox="368 913 1369 1077"> <tbody> <tr> <td>①学ぶことが「おもしろい」「楽しい」と感じているか。</td> <td>3.45</td> <td>91.5%</td> <td>55.0%</td> </tr> <tr> <td>②自分に合った勉強の仕方を考えながら取り組んでいるか。</td> <td>3.39</td> <td>93.8%</td> <td>45.7%</td> </tr> <tr> <td>③授業で友だちと意見を出し合ったり、協力したりしているか。</td> <td>3.53</td> <td>90.7%</td> <td>65.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) やさしく (満足保障) ～自律した関わりができる子ども～</p> <table border="1" data-bbox="368 1115 1369 1317"> <tbody> <tr> <td>①友だちの気持ちを考えて行動しようとしているか。</td> <td>3.66</td> <td>98.4%</td> <td>67.4%</td> </tr> <tr> <td>②困ったとき、まわりの人に相談したり助けってもらったりできか。</td> <td>3.48</td> <td>92.2%</td> <td>56.6%</td> </tr> <tr> <td>③友だちの考えを大切にして話し合ったり、協力して活動したりしているか。</td> <td>3.53</td> <td>94.6%</td> <td>60.5%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 各質問項目において、4段階評価の全校平均がおおむね3.5点前後となり、目標としていた3.0点以上をすべての項目で上回った。また、肯定的な回答(3・4段階)の割合はいずれも9割を超えており、児童の意識の高まりがうかがえる。 一方で、最上位である4段階を選択した児童の割合が50%を下回る項目も見られ、主体性や自律的な学びが十分に定着しているとは言えない。今後は肯定的な意識を「行動の質」や「継続的な姿」へと高めていく指導が課題である。 		質問項目	評価	3・4段階	4段階のみ	①自分なりの考えをもって行動しようとしているか。	3.40	94.6%	46.5%	②間違えたり失敗したりしても、あきらめずにやり直そうとしているか。	3.50	93.0%	58.1%	③学校生活の中で、自分で選んだことにチャレンジしようとしているか。	3.47	91.5%	58.1%	①学ぶことが「おもしろい」「楽しい」と感じているか。	3.45	91.5%	55.0%	②自分に合った勉強の仕方を考えながら取り組んでいるか。	3.39	93.8%	45.7%	③授業で友だちと意見を出し合ったり、協力したりしているか。	3.53	90.7%	65.9%	①友だちの気持ちを考えて行動しようとしているか。	3.66	98.4%	67.4%	②困ったとき、まわりの人に相談したり助けってもらったりできか。	3.48	92.2%	56.6%	③友だちの考えを大切にして話し合ったり、協力して活動したりしているか。	3.53	94.6%
質問項目	評価	3・4段階	4段階のみ																																						
①自分なりの考えをもって行動しようとしているか。	3.40	94.6%	46.5%																																						
②間違えたり失敗したりしても、あきらめずにやり直そうとしているか。	3.50	93.0%	58.1%																																						
③学校生活の中で、自分で選んだことにチャレンジしようとしているか。	3.47	91.5%	58.1%																																						
①学ぶことが「おもしろい」「楽しい」と感じているか。	3.45	91.5%	55.0%																																						
②自分に合った勉強の仕方を考えながら取り組んでいるか。	3.39	93.8%	45.7%																																						
③授業で友だちと意見を出し合ったり、協力したりしているか。	3.53	90.7%	65.9%																																						
①友だちの気持ちを考えて行動しようとしているか。	3.66	98.4%	67.4%																																						
②困ったとき、まわりの人に相談したり助けってもらったりできか。	3.48	92.2%	56.6%																																						
③友だちの考えを大切にして話し合ったり、協力して活動したりしているか。	3.53	94.6%	60.5%																																						



<p>自己評価</p>	<p>(評価)</p> <p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校教育目標「自律」を最上位の目標として位置付け、主体性や当事者意識の醸成に向けた取組を教職員全体で共通理解・共通実践することができた。その結果、アンケート結果に見られるように、児童の意識面では肯定的な回答が多く、一定の成果が表れている。 一方で、主体的に学ぶ姿や自律的に行動する姿が、日常の授業や学校生活の中で継続的・安定的に発揮されているとは言い切れず最上位評価(4段階)の割合にも課題が残った。 <p>○以上のことから、具体的な取組は着実に進められているものの、教育目標の十分な達成には至っていないと判断し、自己評価をBとした。</p>	C
-------------	---	---

↑
評価
基準
↓

- A : 具体的な活動がなされ目標を達成できた
 B : 具体的な活動はなされているが、 目標は達成できていない
 C : 具体的な活動がなされておらず、目標も達成できていない

学校関係者評価と意見	(評価) B 学校教育目標「自律」を軸とした取組により、学校生活アンケートの平均3.0点以上を達成し、全体として改善が見られる点は高く評価できる。長期休業中の課題選択やマラソン大会への自主的参加等、主体性を育む特色ある取組も実施されている。 一方で、「自ら学ぶ力」や「課題を解決する力」をさらに伸ばすためには、やる気や読解力を基盤とした一層の指導の充実が求められる。また、4段階評価における最上位評価の割合向上に向けて、教職員と児童が目標や成果をより共有し、満足感・達成感を高める工夫が必要である。 現在進めている「ありがとう」の心を育む取組やPDCAサイクルは機能しており、今年度を基盤として、今後継続的・安定的に成果が定着していくことを期待したい。	C
------------	--	---

自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策	(1) 「自ら学ぶ力」「課題解決力」の基盤強化 ・読解力向上に向けた日常的な言語活動の充実 ・振り返りにおける自己評価の質的向上 (2) 最上位評価割合向上に向けた取組 ・アンケート結果に基づいた教員と児童が話し合う機会の設定 ・達成感を可視化する掲示等の工夫 (3) 目標の共有の徹底 ・学級や児童総会、集会等での定期的な目標確認 ・保護者への発信の充実(学校だより等) (4) 感謝の心を育む取組の継続 ・「ありがとう」を伝える具体的な場の設定 ・行事や日常活動での価値付けの継続	A
-----------------------	---	---